

平成30年度 放課後等デイサービス 自己評価表の公表

	チェック項目	取組状況・改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	放デイの基準を満たし、広くスペースをとっている。
	2 指導員の配置数は適切であるか	利用児2人に対して指導員1人の割合での支援を行っている。
	3 常時見守り等が必要な子どもが利用する場合には通常より多い指導員配置がなされているか	個別支援の必要な重度の利用児にはマンツウで。また、施設外支援時など必要に応じて指導員を増やして対応している。
	4 指導訓練室内は個々の子どもの状態に配慮した環境整備が行われているか	現在、施設の建て替え工事のため、個々の特性に見合った支援を行うときには、静かな部屋に移動したり、仕切りを使って空間を作ったりと配慮している。新しい施設では部屋数も増え、より支援に適した環境整備を行う予定である
	5 事業所内の安全対策及び衛生管理は適切になされているか	現在、施設の建て替え工事のため、施設外への脱走防止などについては内鍵で対応などしている。新しい施設では柵を設けるようにしている。2階(高所)や危険な場所・モノに関しては、利用児が入れないよう柵をしては入れない場所に保管している。衛生管理については、来所前に掃除・消毒をしている。
業務改善	6 業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	勤務時間の関係で、非常勤職員も含めて職員全員での会議やミーティングが極めて難しい状況である。従って、業務改善への全職員の参画を図る為、月1回の「たっち会議」の折りに協議している。今後は会議を増やしていきたい。
	7 保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6か月に1回、職員全体で振り返るようにしている。今後も出来るだけ話し合いを持って改善に繋げていきたい。
	8 この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	今回からホームページを利用して公開する。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は、今後検討していく。
	10 職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	県や市からの研修案内には、必ず一人は参加するよう努めている。非常勤職員の研修参加は時間的に難しいが、研修を受けた内容を持ち帰り、広く周知するようにしている。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	送迎時や担当者会議の時にアセスメントを行っている。今後は密にアセスメントをとり、個別支援計画に反映できるようにする。
	12 子どもの状態と支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	統一したアセスメントツールはあるので、それを基に今後は職員間で話し合い、進捗の把握を行っていく。
	13 活動プログラムの立案を必要に応じてチームもしくは複数名の職員で行っているか	児童発達支援管理責任者が統括する中で、職員間で話し合いをしながらプログラムを立案している。利用児の特性に配慮し、得意なことが伸ばせるような活動に取り組めるようにしている。

適切な支援の提供	14	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫しているか	利用児の特性や能力に応じて、日々変化と工夫をしている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	利用児が経験を通してコミュニケーションがうまくとれるように、もしくは生活力の向上などを目標に設定し支援している。個別と小集団での動きにメリハリをつけて参加できるよう心掛けている。
	16	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	毎日ミーティングを行い、利用児の状況や活動についての共通理解をしている。当日の役割分担なども行っている。
	17	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	その日にかかわった全職員ではないが振り返りを行い、翌日に周知している。帰りの送迎で帰社が遅くなった場合は、振り返り自体が難しいこともある為、順路の工夫を行い、支障が生じないようにしたい。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	その日の活動や個別支援計画に則った用紙にポイントを押さえるような形で記入している。その日の担当になった職員が率先して書いている。全体の把握・情報共有についても努力していきたい。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6か月ごとに実施している
	20	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	十分に把握できていないため、今後活動プログラムの中に盛り込んでいきたい。
関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所の担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	児童発達管理責任者、もしくはそれに準ずる職員が可能な限り参加できるようにしている。しかし担当者会議を行う場合、保護者や学校の時間の都合やシフトの都合で参加できないこともある。
	22	学校との情報共有(行事予定、下校時刻)連絡調整(送迎時の対等等)を適切に行っているか	学校とは利用児の受け渡しを行う際に情報共有を図っているが、時間の確保や情報の共有はまだ不足していると思われる。行事や送迎時間の変更などは、保護者を通じて、もしくは学校からのメールで確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	可能な限り把握はできるように努めている。今後は保護者も交え情報共有と相互理解を行っていく。
	24	学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	これから当放デイを卒業し当就労施設に就職する利用児がいる為、特性などを踏まえて本人や保護者の同意を得て、漏れがないよう情報の提供などを行っていききたい。
	25	専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	特性が強い子や成長の段階で課題が見えた子などについては、積極的に専門機関に連絡し連携をとっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	積極的に交流するような場は設けていない。必要とあらば機会を設けたいが、保護者アンケートによると保護者はそれほど望んでいないように見える為、確認しながらに必要に応じて交流が図れるようにしていきたい。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	送迎時の情報伝達や定期面談を含め、子どもの発達状況や課題について共通理解することができている。利用頻度が少ない家庭との情報共有が少ないので、今後改善の努力を行っていききたい。
	28	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	保護者の方からご相談があれば当放デイ所属の心理士を交えて事業所内で検討し、アドバイスをしている。ただ積極的に保護者の対応力向上を図る目的では支援していないので、今後はかかる観点からも利用者ごとに何を助言すべきか、検討していききたい。
	29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	ペアレントトレーニングの情報提供は行っている。今後ともすすんで情報収集に努力していききたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に、利用規約・運営規定・支援の指針・利用者負担額等をマニュアルに基づいて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	相談を受けた時には、後日面談の場を設け真摯に対応している。保護者にこちらからお伺いを立て、希望があれば当放デイ所属の心理士も面談に同席し、適切な助言を行えるよう心掛けている。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者アンケートでは今のところ特に要望がないため、保護者会等の開催は行っていないが、必要に応じて柔軟に対応していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	迅速かつ職員らで話し合い対応している。
	34	個人情報に十分注意しているか	月報などに利用児の顔が写る場合などの許可は保護者から取っている。個人ファイルは施設内の職員であれば手にとれるようになっているが、個人情報保護の為、紛失や盗難に備え管理を徹底していきたい。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	送迎時に話を聞いたり、保護者の様子を見て送迎後に電話連絡をして悩みや要望を聴く場を設けている。利用頻度が少ない家庭とコミュニケーションをとるのが疎かになっているため、配慮や環境づくりを行いたい。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	作成はしているが、保護者に対しての周知はしていない。今後はモニタリング等の機会を見つけて説明していきたい。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	半年に1回の頻度で避難訓練を行ってはいる。利用する頻度の都合上参加できていない利用児もいるため、漏れがないよう開催したい。
	38	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修会があれば参加し、1年に1度施設全体で虐待防止の研修会を行っている。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	身体拘束の必要性が低い利用者ばかりで、事業所内でも話し合いの機会は設けていない。虐待防止の観点から身体拘束の必要性について、今後は話し合い周知していく。
	40	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者から利用児のアレルギーのことは聞いているが、医師の指示書に基づく対応は行っていない(症状が重度の利用児がいない)保護者からの指示や事業所としての調査に基づいて対応している。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	共有はしているが、事例検討を踏まえ話し合いの場も設けていきたい。